



【速報】政令市ランキング 堺市議会がトップ

2位 京都市会、3位には前年9位からジャンプアップの 相模原市議会が続く
「議会改革度調査 2018」速報版 早稲田大学マニフェスト研究所調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早大マニフェスト研は3月25日、統一地方選を前に全国地方議会の改革度を調べた2018年度「議会改革度調査」の政令指定市別ランキングの速報値を公開しました。



調査結果から、改革の取り組み度を表す順位は、1位 堺市議会、2位 京都市会、3位 相模原市会でした。堺市議会は住民参加・機能強化の2分野で政令指定市トップ。このまま順位が確定すれば、2013年から6年連続の首位になります。3位の相模原市議会は、前年度9位からの大躍進。委員会で請願・陳情者の発言機会があり、会議録に残している取り組みや通年議会を採用している点などの特徴が光りました。

| <TOP3位> | 特徴 |
|------------------------------------|--|
| 1位 堺市議会 住民参加・機能強化 2分野で政令市トップ | <ul style="list-style-type: none"> ・執行部の議案に対し、委員会による修正案を提出し可決している。 ・住民報告会の意見を政策提言につなげる仕組みがある。 ・議決事件に基本構想を追加。 |
| 2位 京都市会 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合計画、総合戦略の進捗状況や成果を検証している。 ・京都市会大規模災害対応指針を定め、検証と訓練を実施。 ・事務局内で政策テーマの研究を行い、職員育成マニュアルも作成。 |
| 3位 相模原市議会 | <ul style="list-style-type: none"> ・広報（広聴）の戦略・成果指標を設定し、検証も実施している。 ・委員会で請願・陳情者の発言機会があり、会議録に残している。 ・法務担当職員の充実のほか、専門的知見の活用も行っている |

※政令市ランキングの各順位は右記 → http://maniken.jp/gikai/2018rank_seirei20190326.pdf

▼議会改革度調査について ※詳細はこちら <http://www.maniken.jp/gikai/2018gaiyo.pdf>

【調査概要】 2019年2月上旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し、全国自治体から回答を収集している。今回は速報値で全体のランキングは6月公表予定。2010年度から今回で9回目の調査となる。

【調査の目的】 以下の2つを目的として実施している。

- (1) 全国の議会改革がどのような状況・傾向にあるか確認する指標として活用すること
- (2) 議会自身が改革度を数値で把握することで自己評価や改善をし、善い政治を競う「善政競争」を促す

【調査の観点】 本調査では、議会が果たすべき役割として3つの柱をあげている。

- (1) 情報公開（本会議などの議事録や交際費・視察結果の公開具合と検証）、(2) 住民参加（傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取）、(3) 議会機能強化（議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況）。それぞれの改革度合を数値化し、ランキングを出している。

◇ 今後、「議会改革度調査 2018」の新たな情報は下記早大マニ研 HP で公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 小椋、青木、中村
TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku